

ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付申請書

社会福祉法人三重県社会福祉協議会会長 様

年 月 日

申請者	フリガナ		生 年 月 日
	氏 名		西暦 年 月 日 S・H 年(歳)
	住 所	〒 -	自宅 () - 携帯 - -

養成機関および修業内容	養成機関名		国家試験等受験予定日	
			20 年 月 日	
			受験名	
	課程・コース		養成区分	昼間・夜間・通信
	所在地	〒 -		
	修学期間	20 年 月 日入学～20 年 月 日卒業・卒業予定(か月)		
取得目的資格	☐ 看護師 ☐ 准看護師(看護師養成機関への進学予定: ☐ あり ☐ なし) ☐ 保育士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ その他()			

資金使途	内 訳	①		円
		②		円
		③		円
		④		円
	⑤	合計 (①～④)	円	借入希望額(⑤または上限 額*のどちらか低い額)

*上限額…入学準備金 50 万円、就職準備金 20 万円

他制度の利用状況	名 称	実 施 主 体	利 用 状 況
	ひとり親家庭高等職業訓練促進 資金貸付	過去に他の都道府 県・指定都市等で	☐ 決定済・利用中 ☐ なし
	専門実践教育訓練給付金	都道府県(ハロー ワーク・雇用保険)	☐ 決定済・利用中 ☐ 申請中 ☐ 申請予定 ☐ なし
	自立支援教育訓練給付金		☐ 決定済・利用中 ☐ 申請中 ☐ 申請予定 ☐ なし
	保育士修学資金貸付事業	都道府県・指定都市 (社会福祉協議会)	☐ 決定済・利用中 ☐ 申請中 ☐ 申請予定 ☐ なし
	介護福祉士等修学資金貸付		☐ 決定済・利用中 ☐ 申請中 ☐ 申請予定 ☐ なし
	三重県看護修学資金(保健師助 産師看護師等修学資金)	三重県	☐ 決定済・利用中 ☐ 申請中 ☐ 申請予定 ☐ なし
	奨学金(病院)	就職(希望)先等	☐ 決定済・利用中 ☐ 申請中 ☐ 申請予定 ☐ なし
	その他給付金や奨学金 (名称:)	高等職業訓練促進 給付金を除く	☐ 決定済・利用中 ☐ 申請中 ☐ 申請予定 ☐ なし
	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付の要件と 相反する条件(県外での就労を課す等)の制度		☐ 決定済・利用中 ☐ 申請中 ☐ 申請予定 ☐ なし

学歴(卒業年月と学校名)	職歴(従事先名称)
年 月 中学卒業	年 月
年 月 高等学校卒業	年 月
年 月	年 月
年 月	入学準備金の申請者のみ 現在 ☐ 就業中 ☐ 就業していない

(表面)

生計を一にする世帯	フリガナ 氏 名	本人との続柄	職業	同・別居	健康状態	生年月日	年齢	勤務先・通学先 名称
		本人		—				

資格取得後の就職希望先		連帯保証人	☐ 立てる ☐ 立てない
-------------	--	-------	--

連 帯 保 証 人 予 定 者

※この用紙は連帯保証人の予定者とするため借受人本人がご記入ください。

フリガナ		生年月日	西暦	年	月	日
氏 名			S・H	年(	歳)	
申請者との関係		家族数 (連帯保証人を含む)				
現住所	〒 —					
電話番号	自宅() — 携帯 — —					
勤務先名称						
勤務先住所						
雇用形態	☐ 正社員 ☐ 契約社員 ☐ 派遣社員 ☐ 公務員 ☐ 個人事業主 ☐ 法人経営者 ☐ その他[]					
職 種		個人年収	円			

■申請に当たっての留意ならびに同意事項

1 申請者は、この貸付申請書の記載事項が真実かつ正確であることを誓約します。

2 申請者は、本資金の関係法令等および社会福祉法人三重県社会福祉協議会ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業実施要綱に従います。

3 申請者は、貸付申請書の記載事項および添付書類の事実確認を行うことに同意します。

4 申請者は、貸付が決定した後、申請者の状況に変化があった場合は、ただちに三重県社会福祉協議会に届け出ます。

5 申請者は、在学、就労、資格合否等、必要な情報を把握するため、三重県社会福祉協議会が申請者に報告を求めることに同意します。

上記5項目に相違ありません 氏 名 _____

(申請者が記入してください)

ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付個人情報の取扱いに関する同意書

1 個人情報の利用目的

社会福祉法人三重県社会福祉協議会 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業(以下、「本事業」という)の円滑な実施のため、貸付・償還の状況について正確に把握することを目的とします。

2 個人情報の取得について

本事業の貸付に際して、必要な情報のみを、適法かつ適正な方法により取得するものとします。

3 個人情報の利用について

個人情報は、利用目的の範囲内で本事業担当者が取扱います。ただし、事業の目的を達成するために必要な範囲において、下記のとおり第三者に対して個人情報を提供し、第三者から個人情報を取得し、また、第三者との間で個人情報を共有することがあります。

なお、返還開始後において、連帯保証人に対して、住所および電話番号等借受人等の個人情報を提供することがあります。

① ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金の支給機関

貸付の決定、貸付の停止、返還猶予・免除等について、借受人等(借入申込者、連帯保証人、その他の関係者を含みます。以下、同じ。)の情報全般について提供します。

② 就学するまたは就学した養成施設、業務従事先等

返還猶予・免除等に関わる就学・就業の事実確認のために、借受人の情報について情報・照会することがあります。

③ 他の都道府県・市区町村社会福祉協議会および全国社会福祉協議会

重複貸付や不正借受防止のため、本県以外の都道府県への転出・転入した借受人等の情報、および県外に居住している関係者の情報について提供し、情報提供を受けます。

④ 関係行政機関

借受人等の氏名・住所・生年月日等に係る情報、収入額、所有額および資産の保有状況に係る情報、納税に係る情報、生活保護、児童扶養手当等公的な扶助の受給状況、その他必要な情報を提供し、提供を受けます。また、転居した場合の事実確認などのため転出入先市区町村への個人情報の提供・照会をすることがあります。

⑤ 各種金融機関

貸付金の交付および返還金の払込・口座振替において利用する金融機関に対し、個人情報の照会を行うことがあります。

⑥ その他の関係機関

必要に応じて、貸付内容に関係する各機関に事実確認のために情報の提供をし、または提供を受けることがあります。

4 本事業目的以外への利用および第三者への提供について

取得した個人情報は、本人の同意なく、目的以外への利用、および上記3「利用について」において示した外部の提供を除き、第三者へ提供することはいたしません。ただし、下記の場合には、同意を得ることなく、目的以外への利用、第三者への提供をすることがあります。

- ・弁護士法に基づいた弁護士による照会に回答する場合
- ・火災・災害など緊急時で、人の生命・身体、財産の保護のために必要がある場合
- ・税務署からの照会、警察・検察からの捜査協力依頼、本人に知らせることでその事務に支障を及ぼすおそれがある場合

5 個人情報の管理について

取得した個人情報は、書面およびシステムで管理・利用し、漏えい・き損のないように努めます。システムの保守を委託している業者とは、個人情報の保護について定めた条項を含む契約を締結しています。

6 個人情報の本人への開示について

本事業で管理している個人情報については、貸付時の借受人と債務関係者に対して、本人確認をしたうえで開示します。ただし、開示によって本人または第三者の権利・利益を害するおそれがある場合や、本会事業の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合などには、開示しません。

三重県社会福祉協議会 会長 様

私は、上記個人情報の取扱いについて同意します。
私と、私の世帯員が、暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む)に該当しないことを
宣言します。

借受人(本人自署) 年 月 日

住所 _____

氏名 _____
(年 月 日生)

連帯保証人(本人自署) 年 月 日

住所 _____

氏名 _____
(年 月 日生)

ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付
資金使途報告書

年 月 日

フリガナ			生 年 月 日
氏 名			西暦 年 月 日 S・H 年(歳)
養成機関名 (課程・コース)			
	入学年月	20____年____月	第____学年(在学中の方のみ記入)
借入希望額	円		

申請書に記載した資金使途の内訳(①～④)について詳細を記載のこと

	内 訳	費 用	備 考
①			

【添付書類】使途を証明する書類

入学準備金…養成機関に支払う入学金や学用品等の額が記載された入校案内(写)等と、領収書(写)等

就職準備金…転居に係る契約書(写)等と、支払金額がわかる領収書(写)や使途がわかるようにメモを記入したレシート(写)等